

## 〈卓球〉全日本卓球

天皇杯・皇后杯平成29年度全日本卓球選手権大会(一般・ジュニアの部)が1月15日から21日まで、東京体育館で開催されました。この大会は①男子シングルス ②女子シングルス ③男子ダブルス ④女子ダブルス⑤混合ダブルス ⑥ジュニア男子シングルス ⑦ジュニア女子シングルの7種目の日本一を決める国内最大の大会で、卓球選手にとっては夢の舞台です。エリートアカデミーからは浅津君、宇田君、柏君、張本君、竹内さん、平野さん、長崎さん、木原さんが出場しました。

### = 主な競技結果 =

#### ○男子シングルス



【優勝を果たした張本君  
(写真: 日本卓球協会HPより)】

リオデジャネイロオリンピックシングルスで銅メダルを獲得した水谷選手をはじめ、232名が出場、エリートアカデミーからは、宇田君と張本君が出場しました。

宇田君は初戦で大学生と対戦し、自分のペースに乗ることができず1対4で敗れました。張本君は圧倒的な力で初戦を突破すると、その後も社会人や大学生を相手にファイトあふれるプレースタイルで勝利し、決勝に進出しました。決勝は、これまで4年連続9回の優勝を誇る水谷選手との戦いとなりました。第1・第2ゲームを取り勢いに乗り、ゲームカウント4対2という結果で初優勝を果たし、頂点に立ちました。張本君は今年の大会で平野さんが記録した最年少優勝記録を破る14歳6か月での優勝です。

#### -張本君のコメント-

「今回の全日本選手権はジュニアと一般で初優勝をすることができました。ジュニアは思い切ってくるプレーに対して、冷静にコースや回転をかけたり狙ったり、良いプレーができました。一般は思い切って良い攻めや声を出して、フットワークも良かったと思います。決勝は王者の水谷さんとでしたが、気にせず恐れずに向かっていけたのが勝因です。フォアハンドとバックハンドのどちらも強いドライブが打てたのが良かったです。サービスも質が良かったです。この優勝に満足せず、これからもたくさんのタイトルを獲っていきたいです。そして、将来はオリンピックで金メダルを取りたいです。」(原文のまま記載)

#### ○女子シングルス

昨年に続き連覇を狙う平野さんが出場しました。初戦、2試合目と順調な滑り出しでしたが、その後の3試合は全てファイナルゲームまでもつれる大接戦となりながらも、粘り強い試合運びで勝ち抜き決勝まで進みました。決勝は同年代の伊藤選手との対戦となりました。第1・第2・第3ゲームを落とし0対3となりました。第4ゲームは11対5で取り返しましたが、第5ゲームを奪われ準優勝となり2連覇はなりませんでした。

#### ○男子ダブルス

宇田君・張本君ペアが大学生や社会人のベテランペアを破り準決勝に進出しました。準決勝では優勝した水谷・大島ペアにゲームカウント1対3で敗れましたが、3位入賞を果たしました。

#### ○ジュニア男子シングルス

宇田君と張本君が安定した力を発揮し、エリートアカデミー生同士の決勝戦となりました。張本君が3ゲームを連取し初優勝を果たしました。また、宇田君が準優勝、浅津君がベスト8となりました。

#### ○ジュニア女子シングルス

昨年度2位で今大会第1シードの長崎さんは準々決勝、準決勝と3対2という接戦を制して決勝に進出。決勝ではゲームカウント0対2と瀬戸際まで追い込まれ、第3ゲームも11対11のデュースとなりましたが13対11で勝利し、勢いに乗った長崎さんは、その後の2ゲームを連取。大逆転で初優勝を果たしました。また、中学1年の木原さんも健闘し、3位となりました。



【(写真: 日本卓球協会HPより)】

#### -長崎さんの感想-

「昨年は準優勝ばかりで、すごく悔しい思いを沢山してきました。でも、今年最初の試合がこの日本で一番大きな全日本選手権で、ジュニアの部において優勝することができ嬉しいです。準々決勝から3対2という苦しい試合で、決勝は0対2ともう後がない状態でしたが、最後の1本まであきらめず、自分を信じて戦い優勝することができました。こうして優勝できたのは、家族やコーチの方々関係者の方々、そしてチームメイトなど沢山の方のおかげだと思っています。感謝しています。今回の大会でまたひとつ成長できたと思います。これからも、もっと上を目指して頑張ります。」(原文のまま記載)

## 〈フェンシング〉JOCカップ

第25回JOCジュニア・オリンピック・カップフェンシング大会(兼世界ジュニア・カデ選手権日本代表選考会)が1月11日から14日まで駒沢運動公園体育館(東京)で開催され、吉田君、脇田さん、月野さん、丸山さんが出場しました。

男子ジュニアサーブルに出場した吉田君は怪我の治療やリハビリに時間を取られ、十分な練習ができない中での出場となりました。トーナメント1回戦は終盤までもつれる展開になりましたが勝利を収め、2回戦も最終1本勝負を制して勝利し、準決勝に進出しました。準決勝は、大学生を相手に反撃を試みましたが8対15で敗れ、3・4位決定戦に回ることになりました。3・4位決定戦では、自分の持ち味である攻撃的なフェンシングで、15対10で勝利し3位となりました。今シーズンは怪我のためにランキングが低く代表入りが危ぶまれましたが、今大会でのポイント獲得によって、ランキングを4位にまで押し上げた事は大きな成果です。

女子ジュニアサーブルには脇田さんと月野さんが出場しました。脇田さんは、落ち着いた試合運びで勝ち上がりましたが、準々決勝で14対11とマッチポイントを握りながらも逆転され、5位という結果に終わりました。また、月野さんは10位でした。

なお、今大会でもエリートアカデミー修了生の活躍が目立ち、女子ジュニアサーブルでは江村さんが優勝、高嶋さんが2位、向江さんが3位と表彰台を独占しました。また、永野君も男子ジュニアフルーレで2位を果たしました。

## 〈ボート〉有望選手合宿

U19 カテゴリー対象の有望競技者発掘育成合宿が1月10日から19日まで、全国から選抜された男女19名が参加し、戸田ボートコース及び味の素ナショナルトレーニングセンターで開催されました。



【青木君(写真:日本ボート協会)】

エリートアカデミーからも青木君と松田さんが参加しました。この合宿は日本ボート協会が主催し、競技力の向上を図ると共に世界ジュニア選手権日本代表の選考を兼ねて行われており、2,000mのタイムトライアルが1月17日、18日の2日間に渡って行われ、青木君、松田さんも本番を想定しながらのレースプランを立てて記録に挑戦しました。

青木君は1日目7分43秒79と全体で2番目という好位置につけました。本人も自分の漕いでいる感覚より実際のタイム

がよかったことで、少しタイムを落とした1,000mから1,500mの間でもう少し耐えられるよう、2日目に向けてプランを検討しました。2日目は7分47秒57と全体の5番目でしたが、青木君は2本の平均が全体の2番目となり、基準値の達成率が84.5%を超えたことで選考を突破しました。

一方、松田さんは怪我の影響もありベストコンディションではなく艇の動き出しからの力感が見られず選考に残ることはできませんでした。

今回の選考結果を基に、青木君は世界ジュニア選手権、松田さんはアジアジュニア選手権に向けて、次の選考合宿に臨むことになりました。

## 〈北区中学校連合作品展〉



【佐藤さん(上)と園田さんの作品(右)】

北区中学校連合作品展が1月27日から30日まで、王子駅前にある「北とぴあ」で行われ書写部門で園田さん、美術部門で佐藤さんの作品が北区立稲付中学校の代表として出品されました。

この展覧会は、北区内の中学生を対象に日頃の学習活動の成果を一堂に集めて毎年催されています。



## 〈修了式・送別会〉

平成29年度修了式は、3月11日(日)に味の素ナショナルトレーニングセンター大研修室で実施する予定です。その後、例年同様、送別会を予定しています。

今年の送別会は、JOCエリートアカデミー10周年を記念し、これまでの修了生やお世話になった方々をお呼びし、規模を拡大して行う予定です。

なお、今年度の修了生はレスリング(女子2名)、卓球(女子1名)フェンシング(女子1名)、水泳/飛込(男子1名)、ライフル射撃(男女各1名)の5競技7名です。

公益財団法人 日本オリンピック委員会  
JOCエリートアカデミー事業  
〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1  
味の素ナショナルトレーニングセンター  
TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356